LIXIL TOEX

ガラススクリーン ヴェルモ（埋込用柱）　取付説明書

●このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
●この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
●この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号	記号の意味
警告	●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
注意	●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。
一般情報に関する記号	
ポイント	●取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。 ●守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
※	●取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。 ●取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
補足	●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

＜施工の前に＞

警告

●トランス電源ユニットSは壁面取付け専用です。天井面、据置き、本体より小さい取付面傾斜面、湿気の多い場所には設置しないでください。火災・感電・落下の原因になります。
●トランス電源ユニットSは地面より300mm以上離した位置に取付けてください。冠水の時に火災・感電の原因になります。

注意

●車の往来が激しい道路や砂利道に面した場所、砂利敷きなどの駐車場への設置は、石が跳ねてスクリーンに当りガラスが割れる可能性があります。
●人の通路付近への設置は避けてください。降雨および凍結により足を滑らせたり、小さなお子様は転倒や衝突によって思わぬ事故につながる可能性があります。
●製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の施工業者による施工をお願いします。
●正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
●製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
●指定基礎寸法は必ず守ってください。
●前もって設置場所の確認を行なってください。給湯機、暖房器などの排気熱が製品に直接当たらないように600㎜以上離して施工してください。熱による部材の変形・劣化のおそれがあります。
●梱包明細書で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
●施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

＜施工上のご注意＞

注 意

●施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、耳、手、足の保護具）を正しく使用してください。
・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分確認し、健康管理を実施してください。
・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
●ガラスパネルは角をぶつけるなどすると容易に破損するおそれがあります。施工の際には、取扱いに注意してください。
●ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
●取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
●アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
●腐食のおそれのある接着剤や化学製品を使用する場合は、製品と接触しないようにするか、接触する部分を養生してください。
●製品の改造は絶対にしないでください。
●施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆるみがないか確認してください。
●施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。

＜基礎工事について＞

注 意

●基礎部の埋込み深さは製品ごとに決めていますが、現場によって（堅牢な地盤、軟弱な地盤など）基礎部のコンクリートの量（体積）を十分配慮してください。
●寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。
●コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は、非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
●モルタルやコンクリートの抽出液が、工事中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
●製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。

＜電気配線工事について＞

注 意

●AC100Vの電線の埋設工事、配線作業に関しては、電気工事店の有資格者に依頼してください。

ポイント

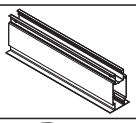
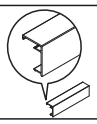
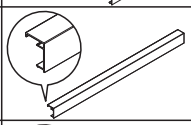
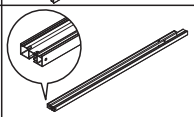
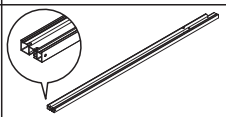
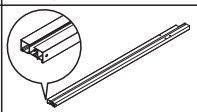
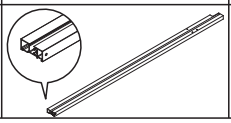
●LEDユニットを取付ける場合には「入切スイッチ」を別途設けてください。「入切スイッチ」を設けないとお手入れの際、夜間照明を消灯したい場合に電源をOFFできません。「入切スイッチ」は現場で別途手配してください。
●「入切スイッチ」にパイロットスイッチを使用すると、「入切スイッチ」をONにしても照明が消灯状態のときはパイロットスイッチ表示が点灯しません。

■梱包明細表

【1】埋込用ガラスパネル

名　称	略　図	員 数			
		W120		W400	
		H09	H12	H09	H12
埋込用ガラスパネル(120×850)		1	—	—	—
埋込用ガラスパネル(120×1150)		—	1	—	—
埋込用ガラスパネル(400×850)		—	—	1	—
埋込用ガラスパネル(400×1150)		—	—	—	1

【2】埋込用柱タイプセット

名　称	略　図	員 数							
		W120				W400			
		L		R		L		R	
		H09	H12	H09	H12	H09	H12	H09	H12
埋込用ベース(スリム)		1	1	1	1	—	—	—	—
埋込用ベース(ワイド)		—	—	—	—	1	1	1	1
埋込用ベースカバー(スリム)		1	1	1	1	—	—	—	—
埋込用ベースカバー(ワイド)		—	—	—	—	1	1	1	1
埋込用柱(左)H09		1	—	—	—	1	—	—	—
埋込用柱(左)H12		—	1	—	—	—	1	—	—
埋込用柱(右)H09		—	—	1	—	—	—	1	—
埋込用柱(右)H12		—	—	—	1	—	—	—	1

■梱包明細表（つづき）

【2】埋込用柱タイプセット（つづき）

名　称	略　図	員　数							
		W120				W400			
		L		R		L		R	
		H09	H12	H09	H12	H09	H12	H09	H12
埋込用柱カバー（上）H09		1	—	1	—	1	—	1	—
埋込用柱カバー（上）H12		—	1	—	1	—	1	—	1
埋込用柱カバー（下）		1	1	1	1	1	1	1	1
ガラス固定金具A		2	2	2	2	2	2	2	2
ガラス固定金具B		2	2	2	2	2	2	2	2
ベース端部カバー上		1	1	1	1	1	1	1	1
ベース端部カバー下		1	1	1	1	1	1	1	1
埋込用柱キャップ		1	1	1	1	1	1	1	1
ガラス押えパッキンA（20×20）		4	4	4	4	4	4	4	4
ガラス押えパッキンB（18×18）		2	2	2	2	2	2	2	2
キャップ用クッション材		1	1	1	1	1	1	1	1
ガラス注意ラベル	⚠注　意 ガラスを揺すったり、乗ったり、寄りかかったりしないでください。	1	1	1	1	1	1	1	1
【2-1】φ4×40 ナベタッピン（D=7、G=5）2種		3	3	3	3	3	3	3	3
【2-2】φ4×10 サラタッピン（D=8）3種		2	2	2	2	2	2	2	2
【2-3】M5×12 十字穴付六角ボルト（SW+PW）		2	2	2	2	2	2	2	2
【2-4】φ4×15 特サラタッピン（D=6、G=3）2種		8（※）	8（※）	8（※）	8（※）	8（※）	8（※）	8（※）	8（※）
【2-5】φ4×10 トラスタッピン（D=8）3種		2	2	2	2	2	2	2	2
【2-6】φ4×10 特サラタッピン（D=6）3種		2（※）	2（※）	2（※）	2（※）	2（※）	2（※）	2（※）	2（※）
取付説明書〈A530〉	—	1	1	1	1	1	1	1	1
取扱説明書〈UA193〉	—	1	1	1	1	1	1	1	1

※【2-4】は生地色が4本、ブロンズ色が2本、【2-6】は生地色が1本、ブロンズ色が1本入っています。

A530_201102A

【3】LEDユニット

オプション

名　　称	略　図	員 数	
		L09	L12
LEDユニット(H09用)		1	―
LEDユニット(H12用)		―	1
LEDユニット固定金具(※1)		2	2
【3-1】φ4×8トラスタッピン(D=8)3種(※1)		2	2
【3-2】φ4×50トラスタッピン(D=8)1種(※1)		4	4

※LEDユニット固定金具、【3-1】、【3-2】はガラススクリーンヴェルモを取付けの際には使用しません。

【4】トランス電源ユニットS 20W

オプション

名　　称	略　図	員　数
トランス電源ユニットS 本体		1
トランスケースフタ		1
結束バンド		1
【4-1】φ4.1×25 丸木ネジ		3
【4-2】カールPCプラグ		3
【4-3】φ4×8ナベタッピン(D=7)3種		1
【4-4】φ4×20ナベタッピン(D=7)1種		4

【5】電源ケーブル(両端防水コネクタ・20m)

オプション

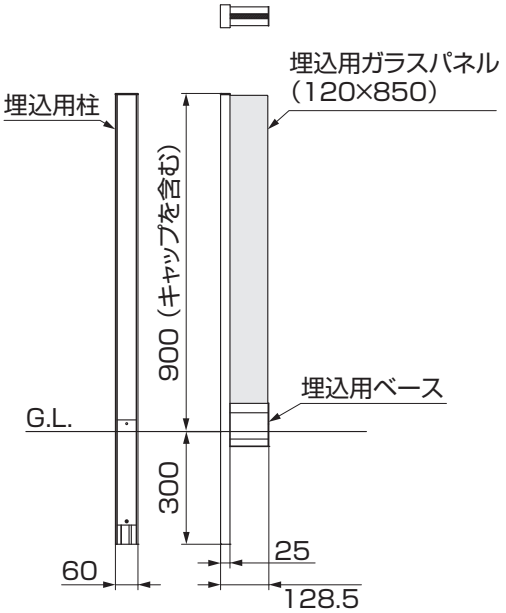
名　　称	略　図	員　数
電源ケーブル		1

A530_201210C

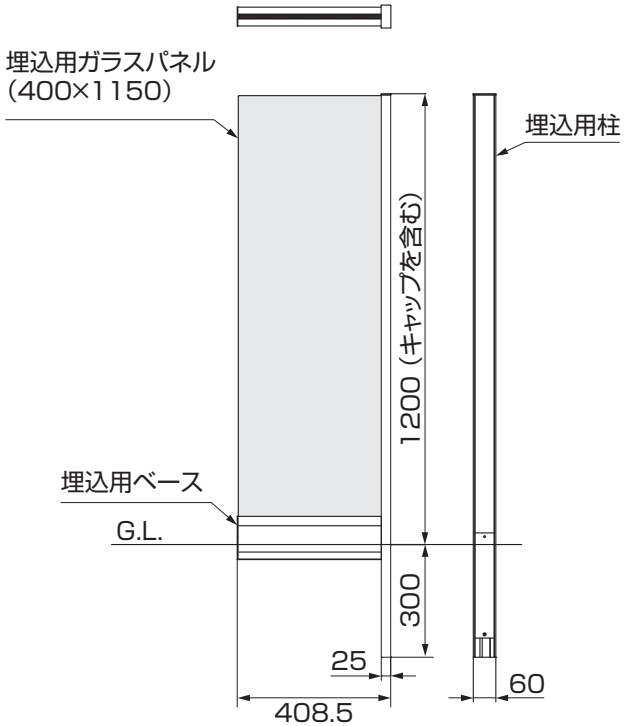
1. 各部の名称および基本寸法図

1-1 基本寸法

（1）W120×H900 左柱の場合

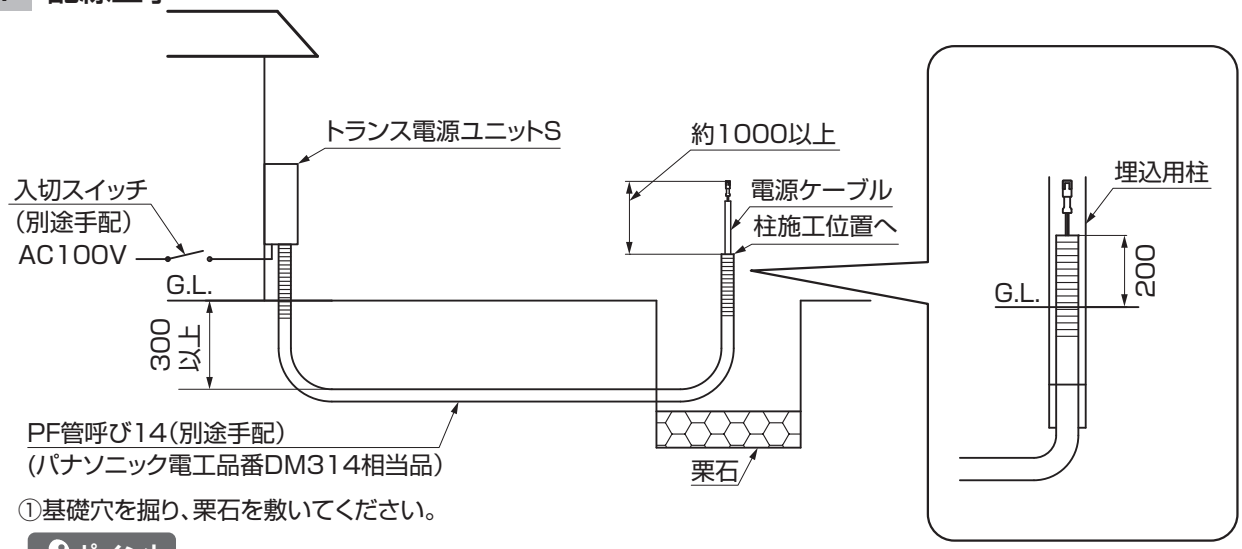


（2）W400×H1200 右柱の場合



2. 基礎工事と配線

2-1 配線工事



①基礎穴を掘り、栗石を敷いてください。

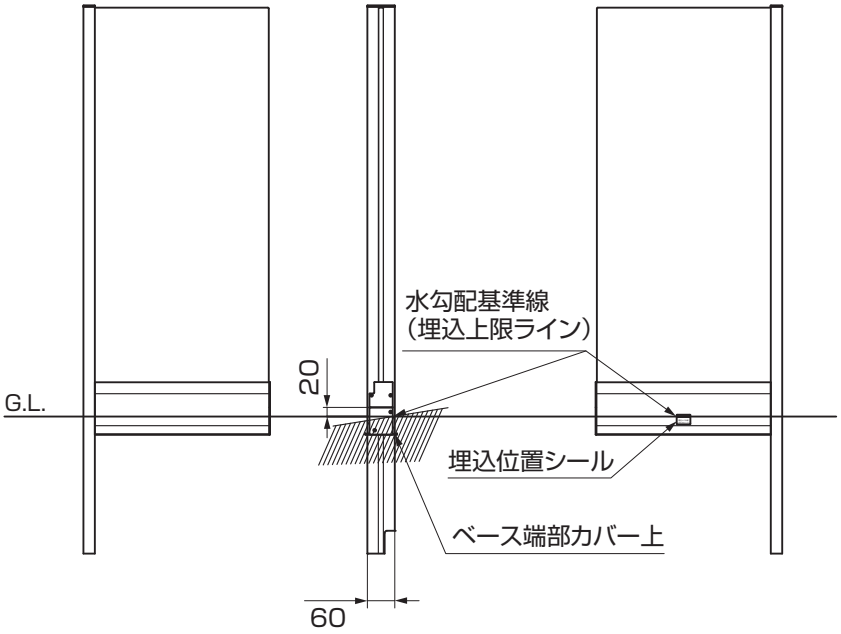
ポイント

- ●配管はG.L.より200mm程度立上げ、パテ埋めなどの処理を施してください。
- ●屋内「入切スイッチ」は必ず設けてください。お手入れの際、夜間照明を消灯したい場合に電源をOFFにできなくなります。

②照明の配線配管をしてください。

A530_201102A

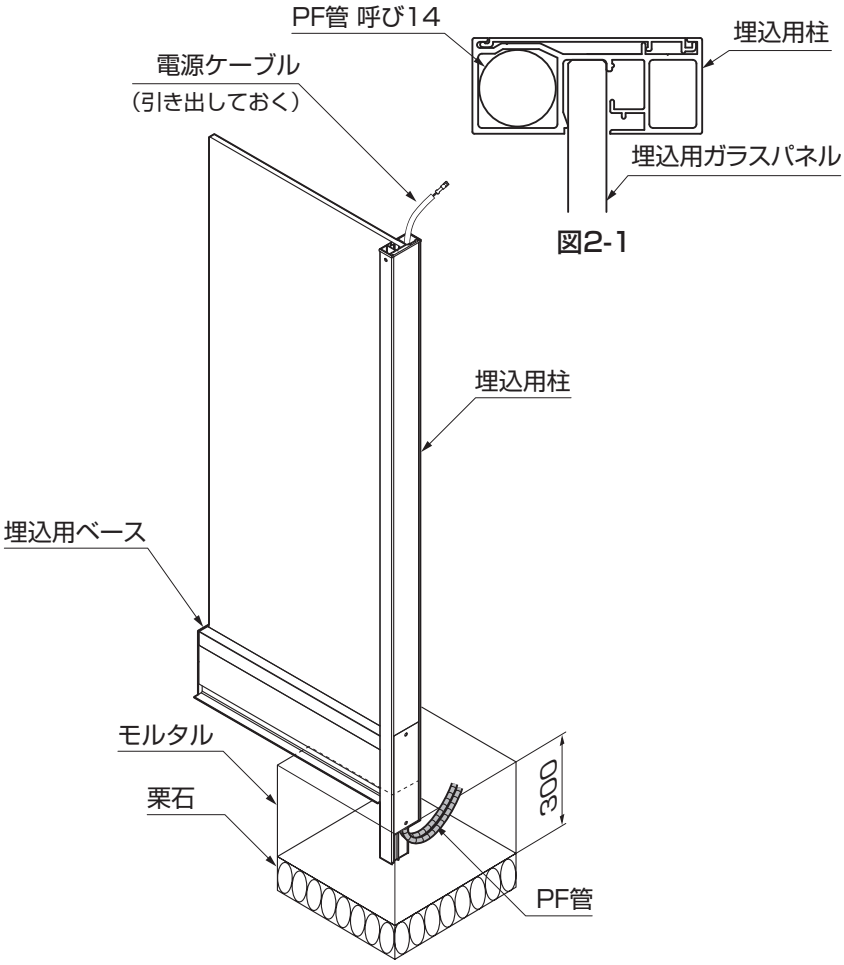
2-2 埋込み時のお願い



ポイント

- 側面側のベース端部カバー上は埋込まなでください。施工後ガラスパネルの交換が出来なくなります。
- 特に水勾配がある場合は、背面の埋込位置シールを基準にして施工してください。

2-3 基礎工事



ポイント

- 照明の電源ケーブル、配管は埋込用柱におさめてください。（図2-1参照）
- モルタルが固まるまでカイモノをして、本体が動かないようにしてください。
- 養生中は埋込用柱内部に雨水などが入らないようにしてください。
- 埋設する際は、図のように電源ケーブルを引き出してください。

①本体を垂直に立て、埋込用ベース背面のG.L.ラインまでモルタルで埋めてください。

A530_201210C

3. ガラスパネルの取付け ※本図はW400×H09（R）タイプを示します。

3-1 埋込用ベースの取付け

①埋込用ベースにガラス固定金具Aを【2-2】で固定しガラス固定金具Aにガラス押さえパッキンA、ガラス押えパッキンBを貼付けてください。

注 意

●【2-2】のネジがガラス固定金具から飛び出していないことを確認してください。飛び出しているとガラス破損によりケガをするおそれがあります。

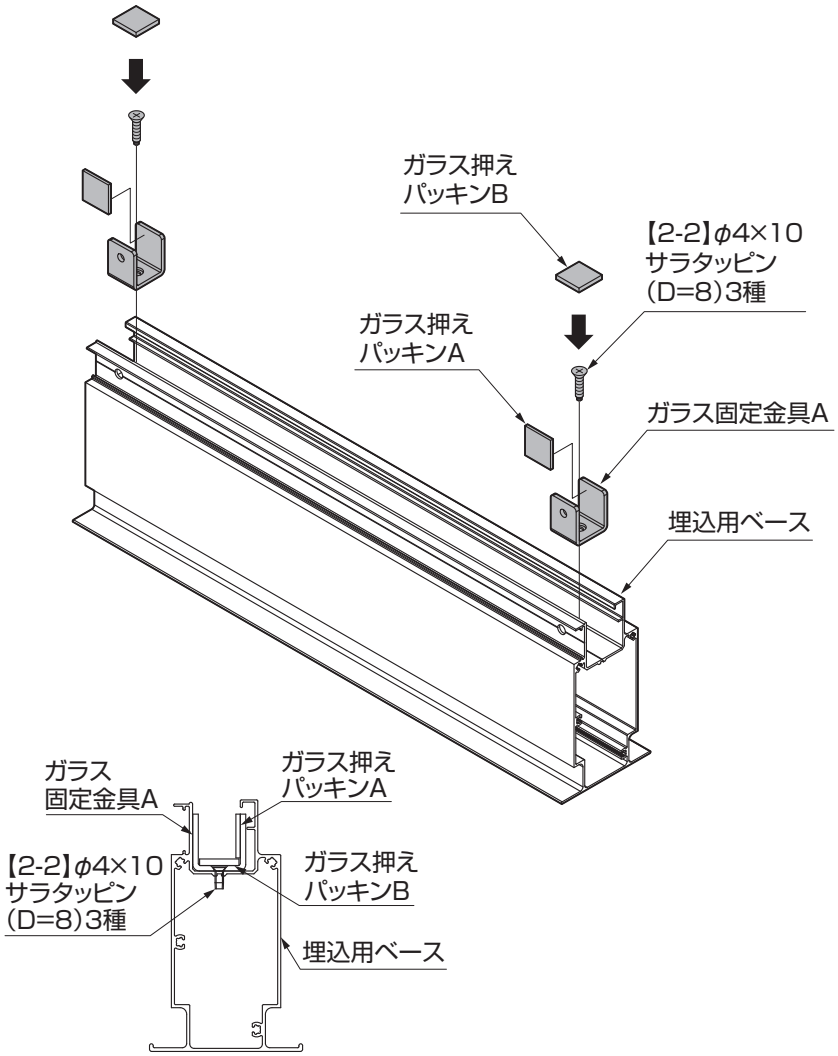
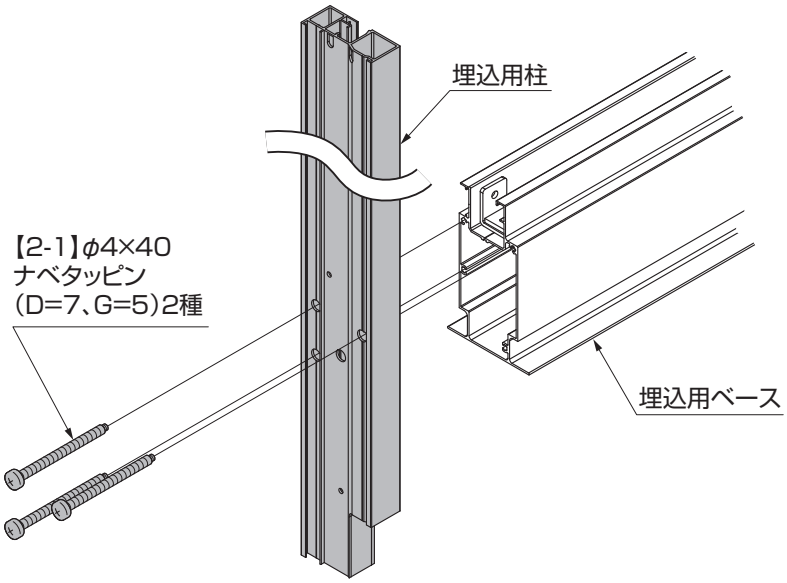


図3-1 埋込用ベース断面図

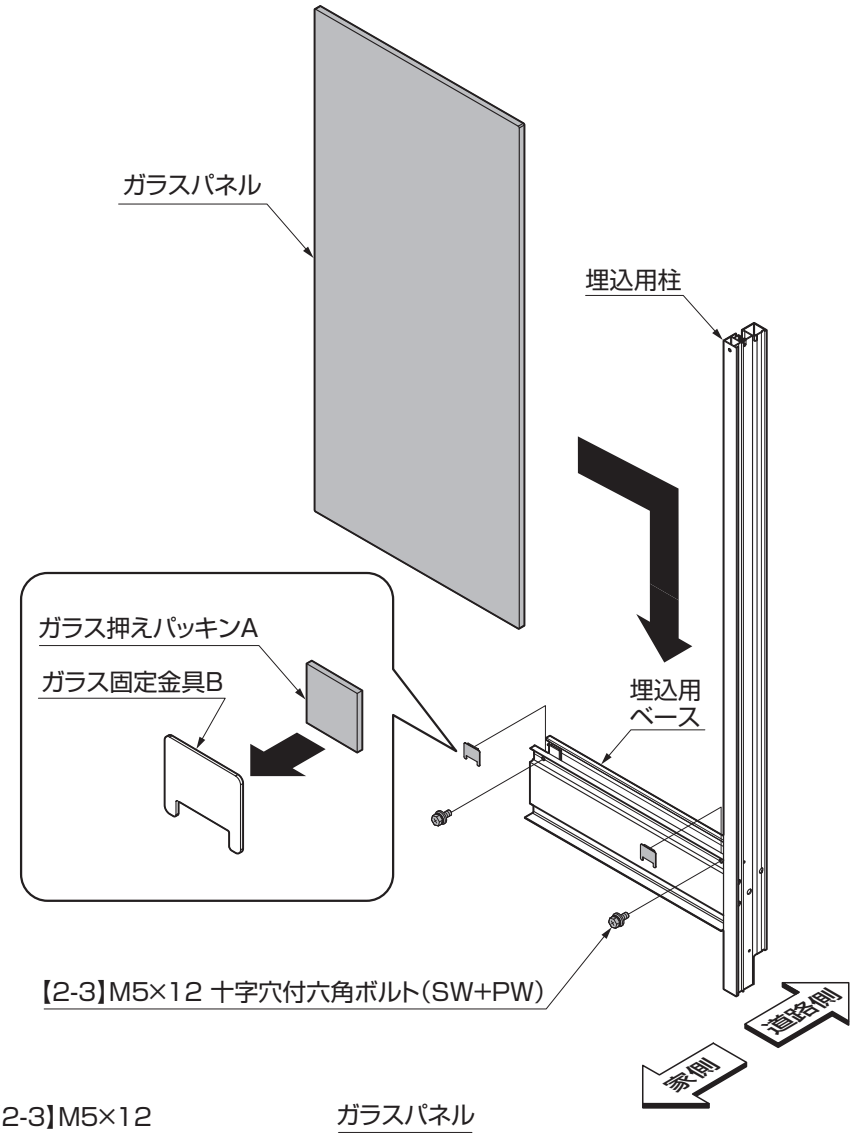
②埋込用柱に埋込用ベースを【2-1】で固定してください。



A530_201102A

3-2 ガラスパネルの取付け

①ガラス固定金具Bにガラス押えパッキンAを貼付け、【2-3】でガラスパネルをガラス固定金具Bで押し付けるように固定してください。



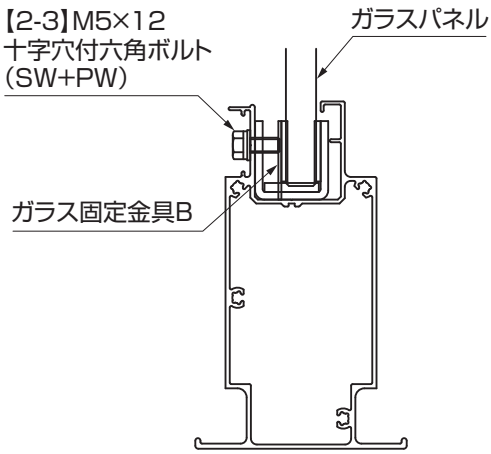


図3-2 取付部 断面図

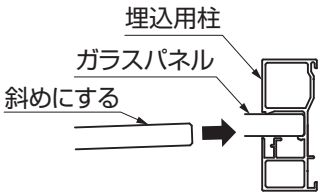


図3-3 埋込用柱のガラス納まり

注 意

●ガラスパネルがしっかり固定されていることを確認してください。固定が緩い場合、ガラスパネル外れ、破損等のおそれがあります。（図3-2参照）

ポイント

●ドライバーを手回しで使用してください。電動ドライバーは使用しないでください。
●ガラスパネルは柱に突き当たるまで入れてください。（図3-3参照）
●ガラスパネルは家側に彫り込み（ブラスト）面がくるように取付けてください。
●リーフの場合はガラスパネルに上下があります。一定に彫り込んでいる面を下側に取付けてください。

補 足

●ガラスパネルは斜めに入れると簡単に柱に入ります。（図3-3参照）

A530_201210C

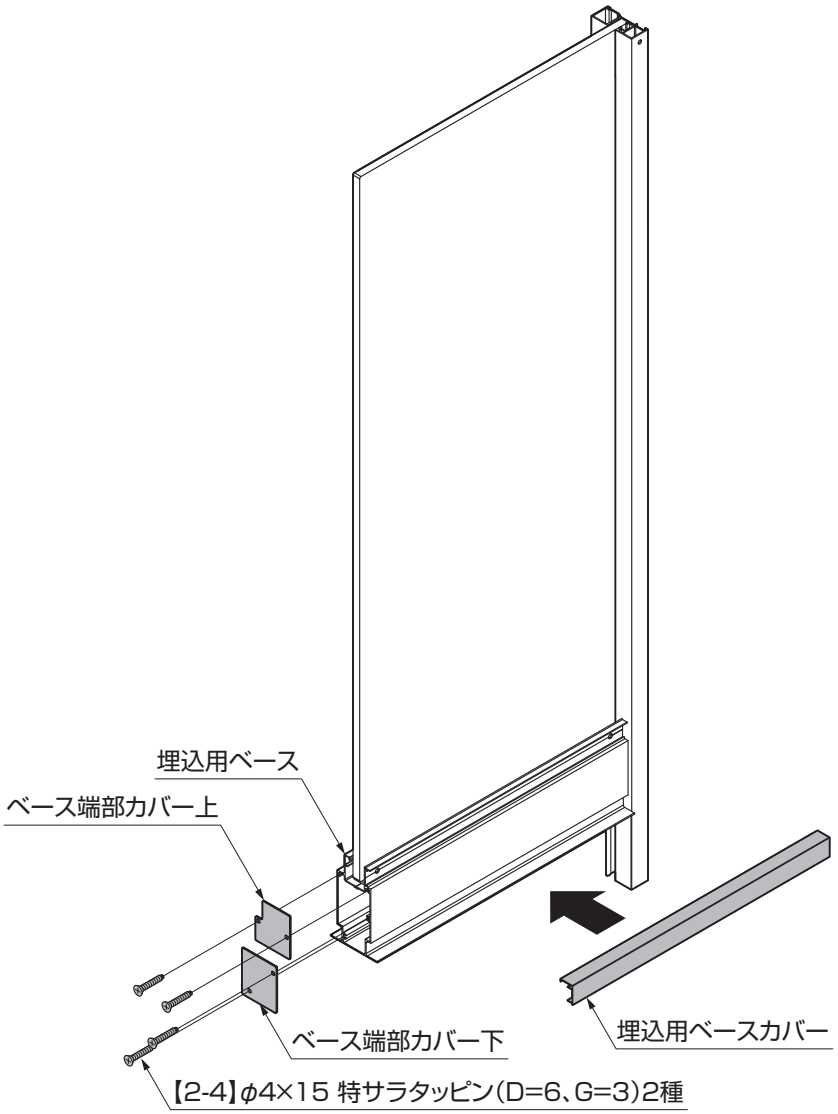
3.（つづき）

3-3 端部ベースカバー･埋込ベースカバーの取付け

①埋込用ベースに埋込用ベースカバーを取付け、ベース端部カバー上、ベース端部カバー下を【2-4】と固定してください。

補 足

●固定するネジは本体色がナチュラルシルバーFの時は生地色、ブラック･ピュアノーチェ･柿渋色の時はブロンズ色を使用してください。



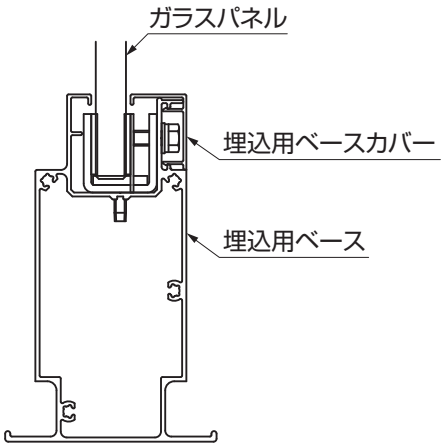
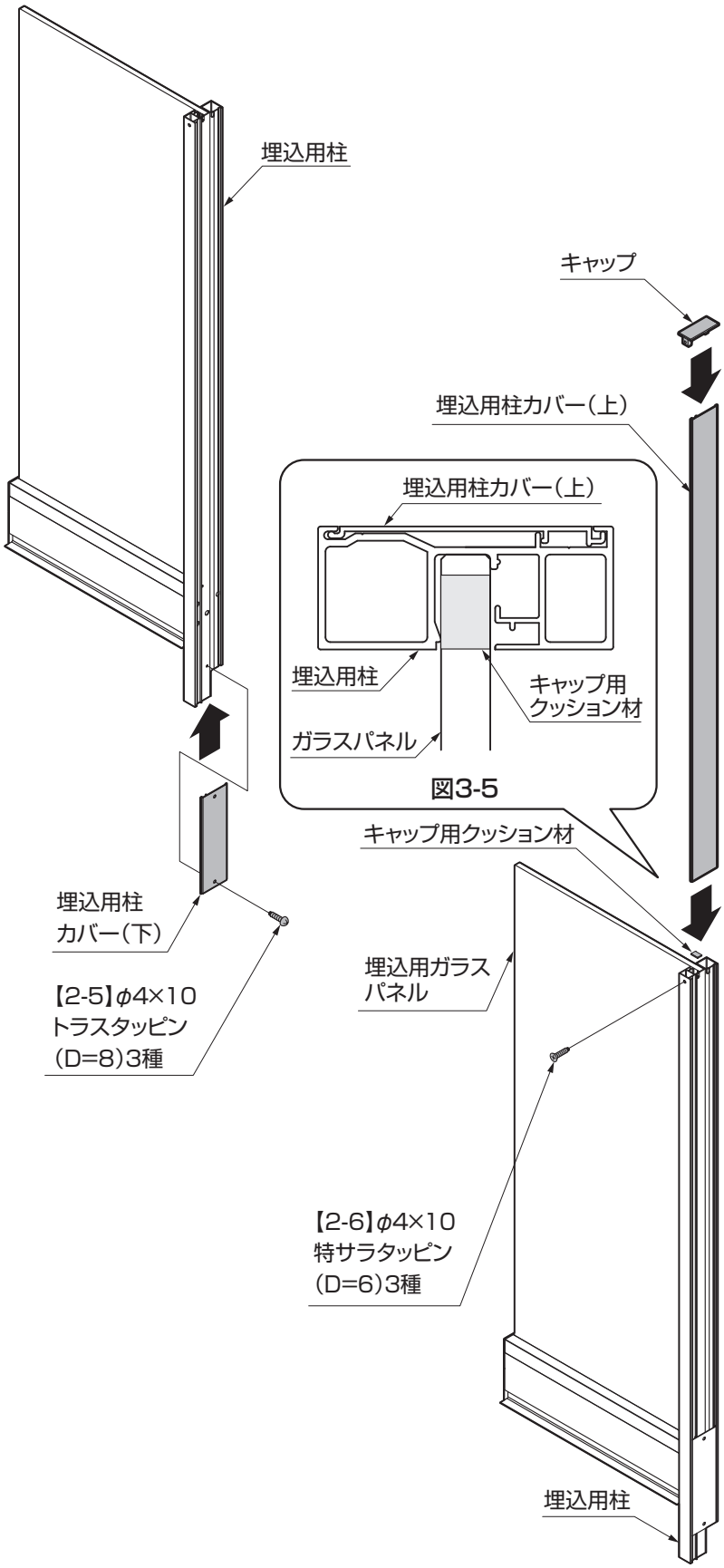


図3-4　埋込用ベース断面図

3-4 埋込用柱カバー・キャップの取付け



①埋込用柱に埋込用柱カバー（下）をスライドして取付け、【2-5】で固定してください。

②ガラスパネルにキャップ用クッション材を貼付けてください。（図3-5参照）

③埋込用柱に埋込用柱カバー（上）をスライドして取付け、キャップを【2-6】で固定してください。

ポイント

●LEDユニットを取付ける場合には、埋込用柱カバー・キャップを取付ける前に「4-1 LEDユニットの取付け」を参照し、LEDユニットを取付けてください。

補 足

●「キャップ」を固定するネジは本体色がナチュラルシルバーFの時は生地色、ブラック・ピュアノーチェ・柿渋色の時はブロンズ色を使用してください。

A530_201210C

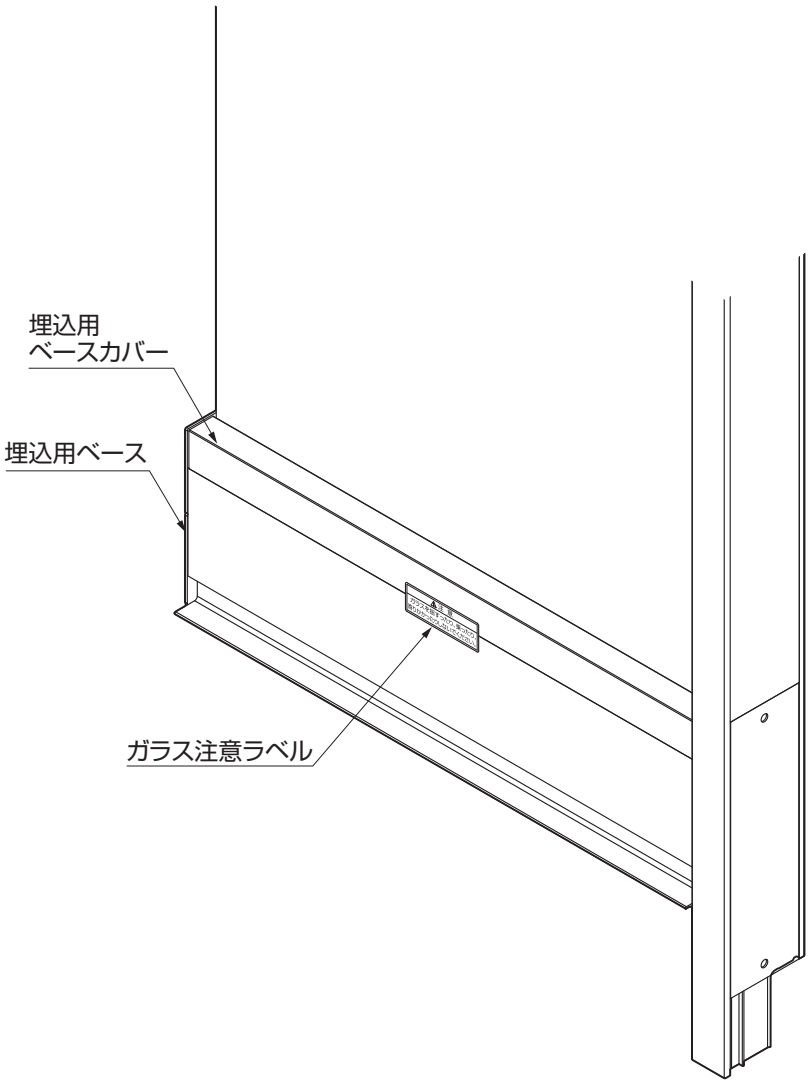
3.（つづき）

3-5 ガラス注意ラベルの貼付け

①ガラス注意ラベルを埋込用ベース･埋込用ベースカバーに貼ってください。

補 足

●注意ラベルは施主様に安全に使用いただくために必要です。



⚠ 注 意
ガラスを揺すったり、乗ったり、寄りかかったりしないでください。

図3-6ガラス注意ラベル

A530_201102A

4. LEDユニットの取付けと配線 オプション

4-1 LEDユニットの取付け

①埋込用柱に【2-5】を取付けて、LEDユニットをスライドして取付けてください。

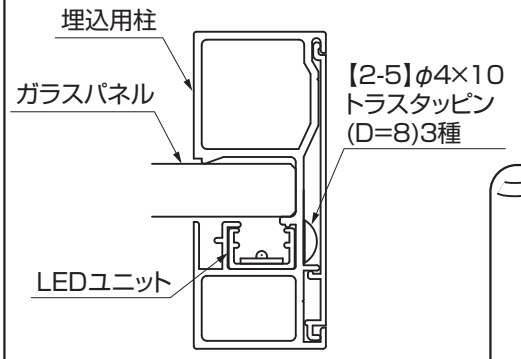
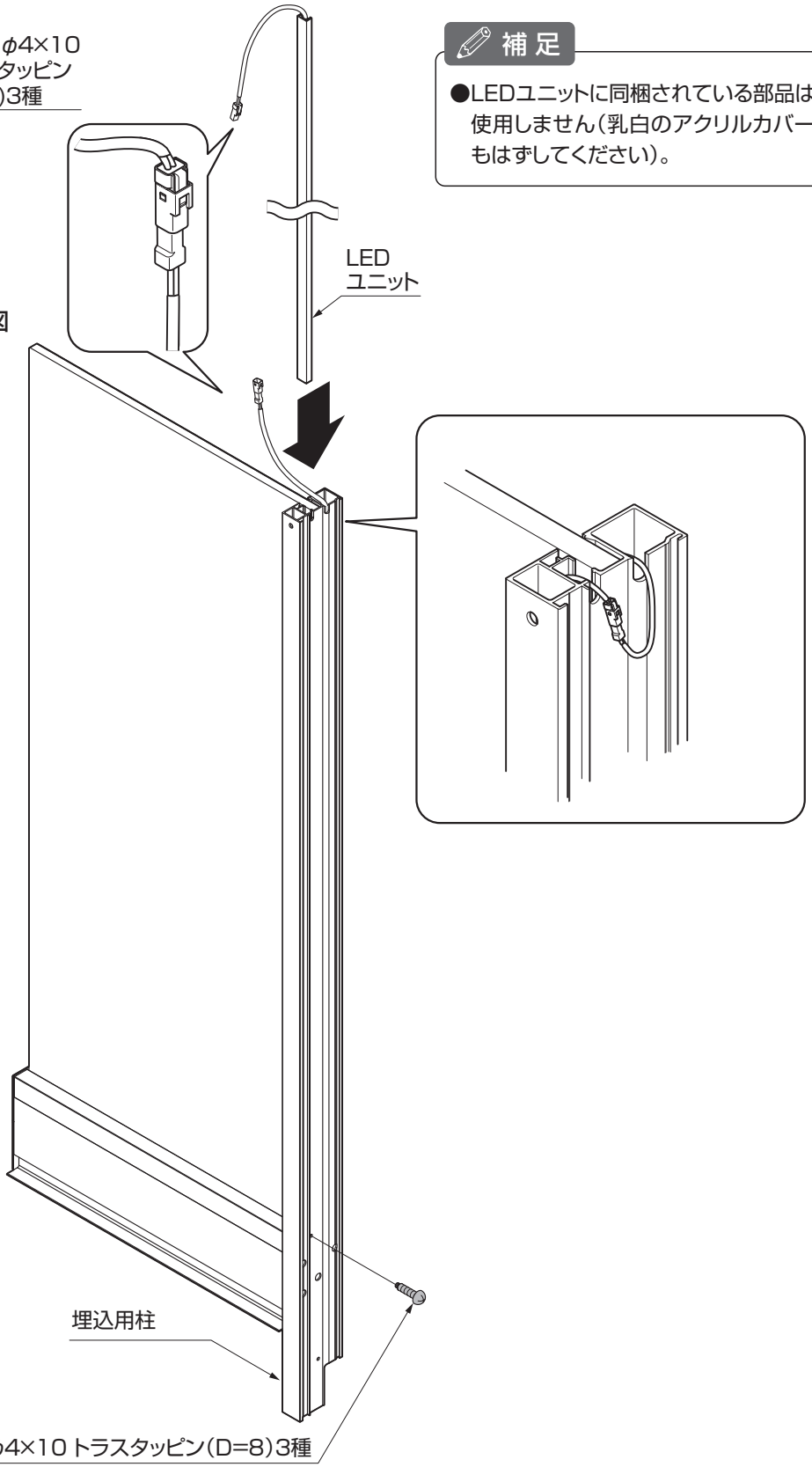


図4-1　LEDユニット取付図

補 足

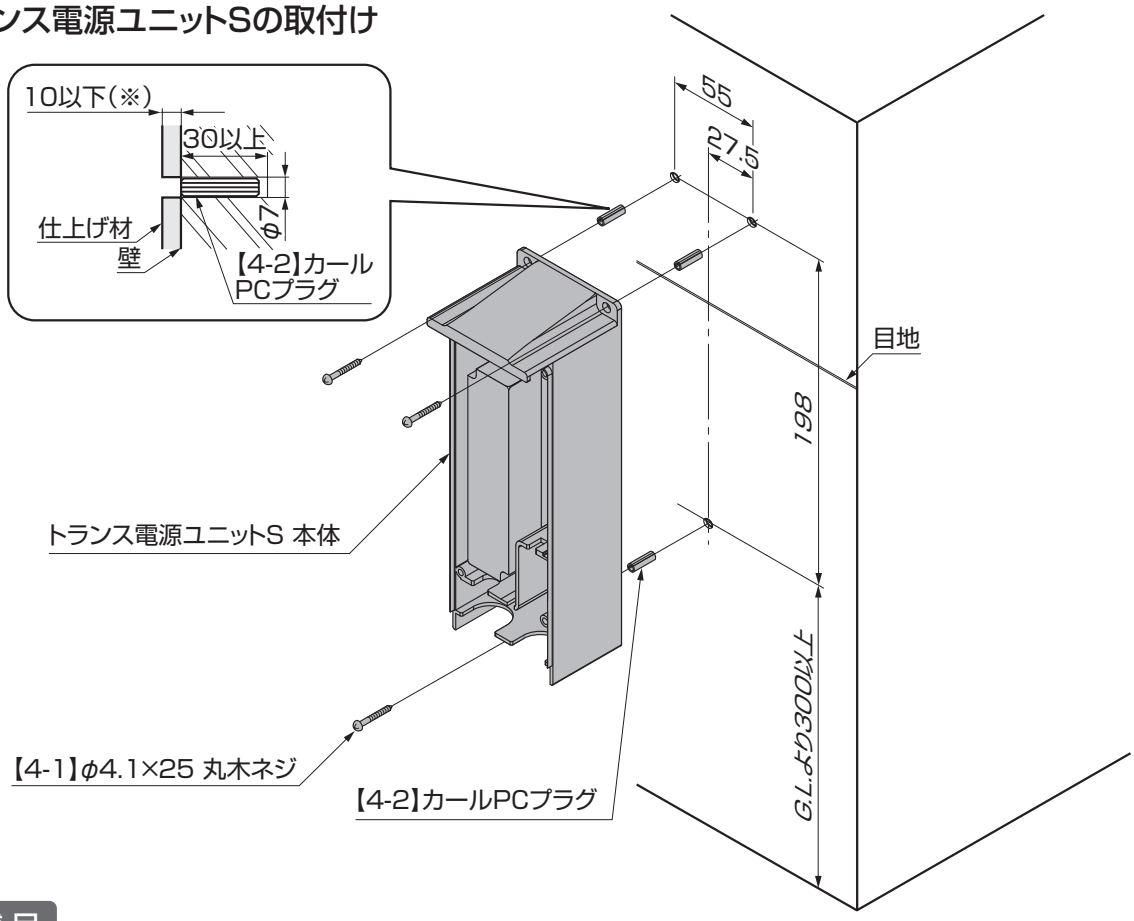
●LEDユニットに同梱されている部品は使用しません(乳白のアクリルカバーもはずしてください)。



A530_201210C

4.（つづき）

4-2 トランス電源ユニットSの取付け



補 足

●トランス電源ユニットS以外のトランス電源を使用する場合はそちらに付属の取付説明書を参照し取付けてください。

①トランス電源ユニットSを取付ける位置に合わせて取付穴位置をけがきけがいた位置に穴径φ7、有効深さ30mm以上の穴をあけてください。

警 告

●トランス電源ユニットSは壁面取付け専用です。天井面、据置き、本体より小さい取付面、傾斜面、湿気の多い場所には設置しないでください。火災･感電･落下の原因になります。
●トランス電源ユニットSは地面より300mm以上離した位置に取付けてください。冠水の時に火災･感電の原因になります。

注 意

●壁に有効深さ30mmの穴をあける場合は、仕上げ材ではなく壁からの深さとしてください。また、付属のプラグやネジの使用は仕上げ材の厚みが10mm以下（※）の場合としてください。10mmより厚い場合は、現場でプラグやネジ等をご用意ください。
●ブロックの目地には固定しないでください。固定強度が弱く、本体が落下してケガをするおそれがあります。

ポイント

●切り粉は必ず除去してください。

②【4-2】を下穴に埋め込み、【4-1】でトランス電源ユニットS本体を固定してください。

A530_201102A

4-2 つづき

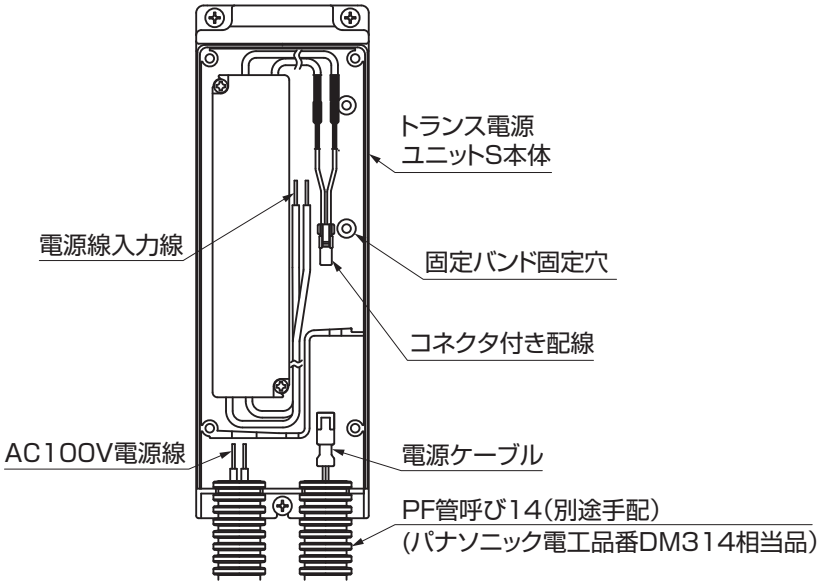
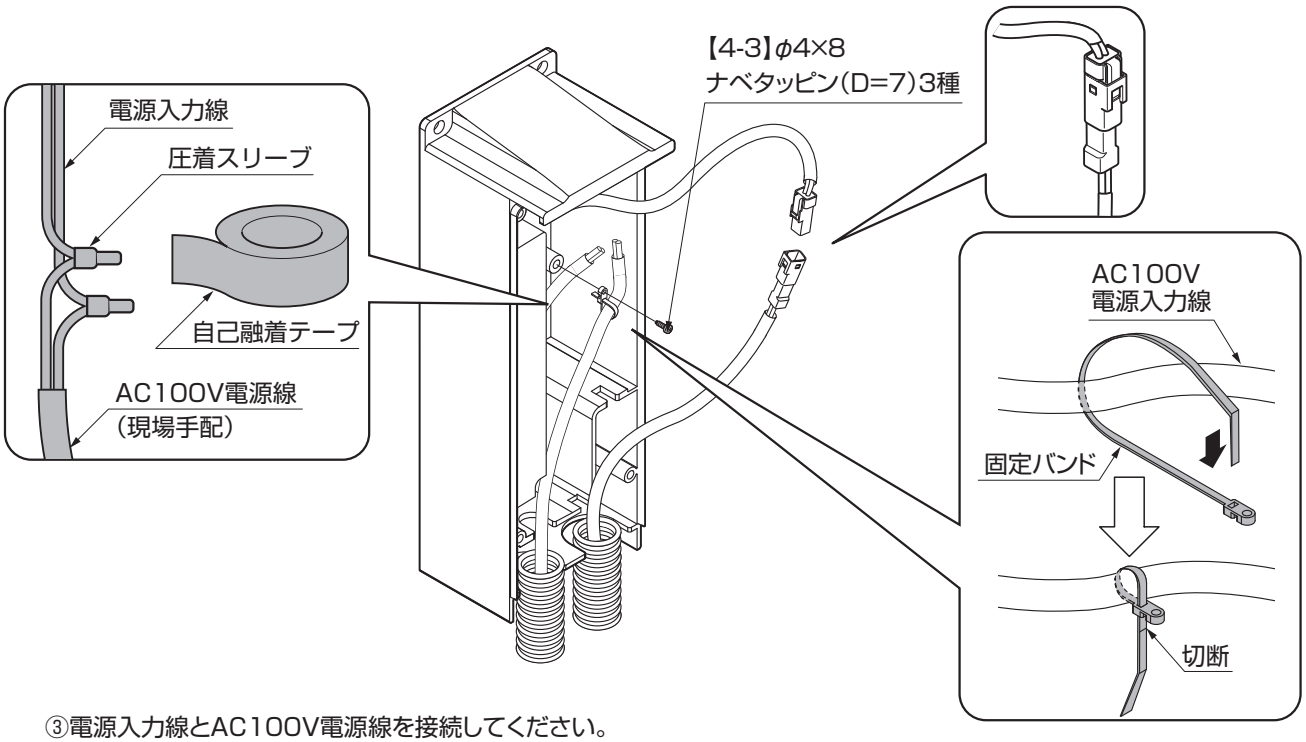


図4-2　トランス電源ユニットS配線図



③電源入力線とAC100V電源線を接続してください。

警 告

●配線接続部は圧着スリーブで確実に行い、自己融着テープなどで防水テーピングを施してください。不完全な場合、絶縁不良による火災・感電の原因となります。

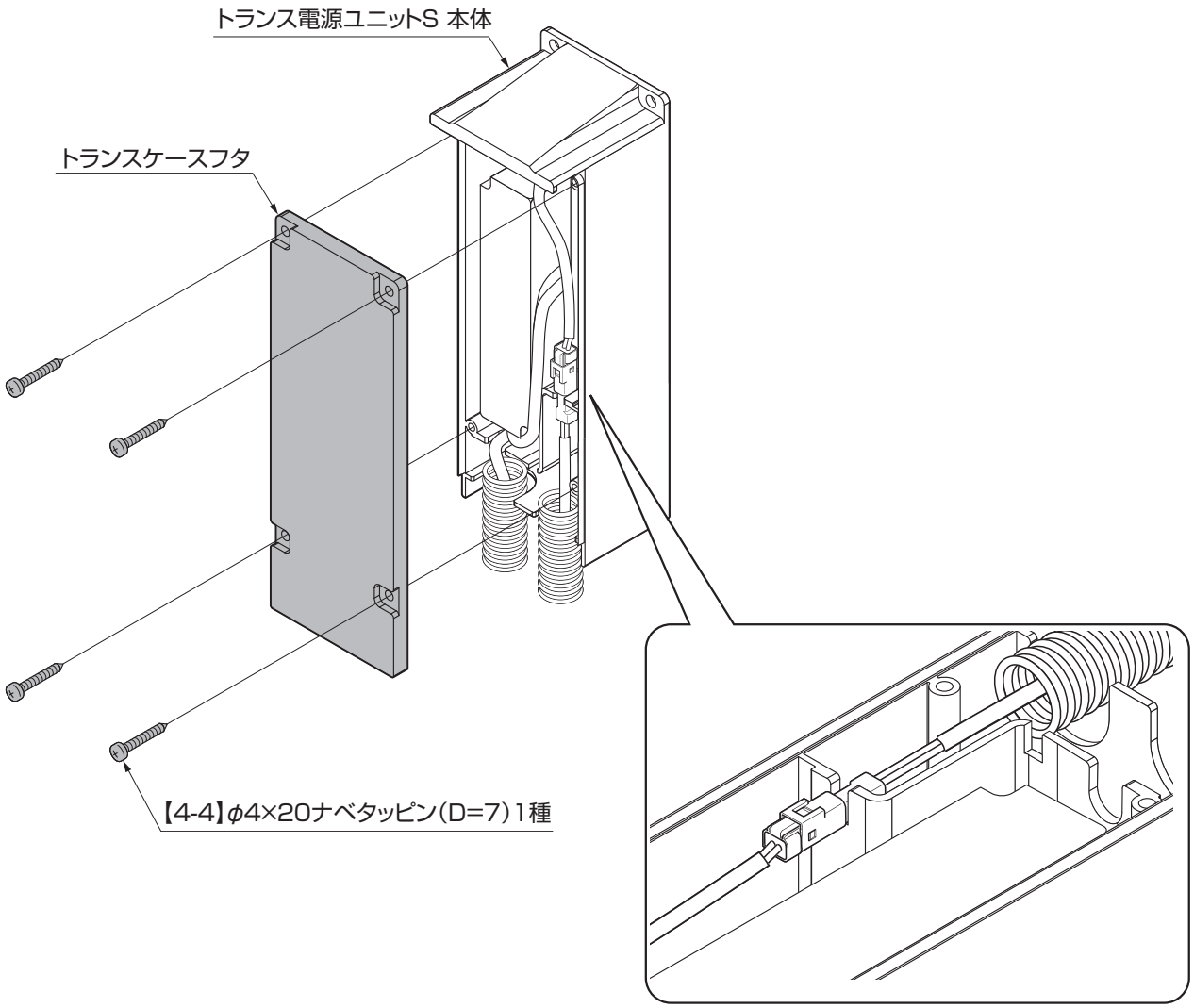
補 足

●AC100V電源線と電源ケーブルは図のようにトランス電源ユニット本体に引き入れてください。(図4-2参照)

④AC100V電源線を【4-3】と固定バンドで固定してください。
⑤電源ケーブルとコネクタ付き配線を接続してください。

A530_201210C

4.（つづき）



⑥コネクタをトランス電源ユニットS本体の溝に入れてください。
⑦トランスケースフタを【4-4】でトランス電源ユニットS本体に固定してください。

注 意

●配線をトランスケースフタに挟んでキズつけないようにしてください。火災・漏電の原因になります。

取説コード
A530

JZZ622269B
201102A_1041
201210C_1041